



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1682 回例会

平成 23 年 11 月 28 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「手にてつないで」

3. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 42 名

出席率 70.00% 前回修正出席率 70.00%

4. 会長スピーチ

会長 田村 健治 君

皆さん、こんにちは。

先ず、地区からのお知らせがあります。先週お話したとおり、長らく空席であったガバナーエレクトに、既にノミニーに選出されていた北中氏が決まったと報告しましたが、3日前ノミニー確定宣言のメールが届きました。河内長野 RC の辻秀和さんという方で 63 歳。職業分類は石材加工で「石駒」という会社の社長さんです。これによってここ 5 年間、和歌山地区からガバナーが出ていないことになります。異常事態と言えそうです。



次に今日の話に移ります。又かと言われそうな資源についてです。でも興味深いと思いますので聞いてやってください。地球の頂点でありながら、未だ知られざる場所である北極が焦点です。そこには世界で未発掘の石油の 13%、天然ガスの 30%、またダイヤモンドや金などの鉱床が眠る『資源の宝庫』と言われていいます。5 大洋の中で 2 番目に小さな海域であり、太平洋や大西洋よりもかなり浅い海と言われるため、海面の氷を除けば、海底の開発が他の大洋よりも容易に行えると期待されています。また、北極圏には未発達の航路があります。ロシア沿岸の北極海を横断する「北極海航路」は、これまでアジア諸国がヨーロッパへ航路で向かう際に利用されてきた欧州ルート(東南アジア→インド洋→紅海→スエズ運河→地中海→ジブラルタル海峡→西欧諸国)に比べてその距離を 4 割ほど短縮します。資源、商業路と、経済発展の源が多く眠るこの北極の領土において、沿岸国家であるロシア、ア

メリカ、カナダ、デンマーク、ノルウェーは「大陸棚がつながっている」と、その領有権を主張し合ってきました。そんな中、中国も新たに参入し、その存在感を急速に高めていることが話題となっています。中国は、北極海航路は将来のハブ港になると見越し、各国の中でも最大級の大使館をアイスランドに開設しました。また、2009 年より自治権の拡大したデンマーク領グリーンランドでは北東部の海底油田等開発の入札に参加を予定しています。北極点周辺での氷床、資源に関する共同研究にも積極的で、今後 4 年間に北極探査隊を 3 回派遣し「北極海域の環境の総合的な観測を段階的に進める」と表明しています。1995 年以降で 4 回に留まる北極探査隊の派遣ペースを考えると格段に速めることになることは言うまでもありません。もちろん北極海航路にも注視しています。勢い止まらぬ中国の動きに沿岸国だけでなく、世界中がその動きに焦りを覚えています。資源探鉱や航路開発による様々な分野での新たな需要、各国の利権争い、経済競争等ますます目が離せない北極海ですが、忘れてはならないことがあります。これらの話が進む背景には、温暖化という事実があるということです。面積約 950 万 km² の北極海は 1980 年頃、氷の面積は約 8 割にあたる 750 万 km² ほどありました。それが、2010 年には 480 万 km² 程度になっています。このことが、北極海での資源探掘、北極海航路の開通を実現可能へと向かわせているのです。しかし海水は多くの野生動物の居場所であり、また ロシアやアメリカなど沿岸国の背後を他国から守ってくれているのも海水なのです。自分たちの手で北極の私たち生物を脅かすようなものにならないように気をつけたいですね。

5. 幹事報告

幹事 山畑 弥生 君

○メイクアップ

谷脇 良樹君 11 月 24 日 有田 RC

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 RC 12 月 1 日(木)→12 月 1 日(木)

12:30～ 海翁禅寺 座禅例会

和歌山東南 RC 12 月 21 日(水)→12 月 24 日(土)

18:30～ ロイヤルパインズホテル

クリスマス親睦家族例会

和歌山北 RC 12 月 26 日(月)→12 月 24 日(土)

18:30～ ホテルグランヴィア 年末家族例会

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田村 健治 幹事: 山畑 弥生 SAA: 岩井 克次

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

和歌山東南 RC 12月28日(水) 1月4日(水)
和歌山中 RC 1月6日(金)

○小久保 好章君



私は、社内でもよく言いますが、40 年前スーパーカーブームがあったが、フェラーリやポルシェは当時のデザインを今見ても十分おしやれで、日本の車は10 年前でも古い感じがする。又、ポルシェやフェラーリや、ベンツ、BMWはそのエンブレムをはずしてもモデルチェンジをしてもわかる。日本車は分からない。この根本的なデザインカの違いを超えるのは無理ではないかと思います。只、弊社でもこのヨーロッパデザインは目指していきます。いつかは、超えられるように。今まで、弊社含め同業の多くは、定期的に商品の色やパッケージを変え新製品として販売して

私は、じっくり自社の商品を眺めてみると、どう見ても昭和の香りがするものが多い気がしました。これでは、世界で戦えないと』思いました。しかし、日本製がヨーロッパ製よりも優れているのは品質です。今、弊社では、ヨーロッパデザイン、日本品質、中国価格、この3拍子が揃った商品開発を急いでいます。それは、日本だけでなく、世界が大きな一つのマーケットとして考えているからです。今後日本の人口は減少の一途であり、それ以上に高齢化が進み、人口の減少以上に購買層の減少が顕著になると考えています。4~50年後には日本の人口が4~5,000万人減少しているという試算も出ています。アジア、ヨーロッパ、アメリカを3つの大きな市場と位置付けここ数年で販売拠点を構築し、物流まで行えるようにしました。現地の営業マンにはハッパをかけていますが、今は竹やりで戦っているような状態です。1日でも早く、大砲やミサイルに匹敵するような商材を届けてやりたいと思っています。アメリカは、不景気だとよく言われていますが、まだまだ大きな市場で、中国やインドなどアジアを大きな市場と考えている自動車業界、コンピューター、家電業界などは、アメリカ市場を網羅してしまっただけで、我々、中小企業はアジアを無視できませんが、まだまだ、アメリカ市場、日本市場はかなり魅力のある市場にはかわりないと思います。その為の今後のデザイン戦略が生き残るカギになると思います。私の話を終わらせていただきます。

昨年からフルーツのキウイ作りを始めました。66歳にして、初めての農作業。毎日、キウイ作りに追いたくられています。口の悪い友達は「自分の頭に似たものを作ってと言いますが、私は別の玉に似ていると思う。キウイの玉は小さい玉

も良い味がします。しかし、世の奥様方はどういうわけか、スーパーでキウイを買う時、大きなものを選びます。大きいキウイにも秘密がありまして、夏のまだ実の小さいうちにホルモン剤のフルメット液と言うバイアグラのようなものに実を浸して大きくさせる。それに、害虫の防除、腐敗予防、さらに、除草液の散布等で薬漬けになり、外観は立派なキウイですが、たくさんの薬が使われ、知らず知らずのうちに私たちの体の中に入ってきています。日本で、この状態ですから、これからPTTに加入すると外国からの食料にはどれだけ薬剤が入っているかはかり知れません。科学が発達すると外国は意図的な細工で、日本人に薬漬けの食料品を食べさせ自分の国に服従する人間に、また、男性も去勢された人間に変えられるかも知れません。そういえば、テレビ界では男性と女性の間の方が多くよく出ています。その兆しかもしれません。そうになると、ロータリーも中間の方の入会を認めるのかど

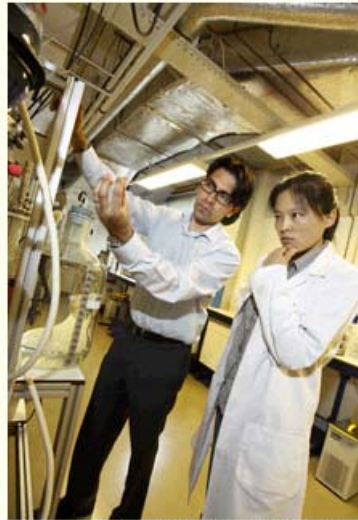




国際ロータリー ニュース

ロータリーが ユネスコ水教育研究所と提携

ロータリーは、ユネスコ水教育研究所 (UNESCO-IHE) と戦略的パートナーシップを結び、パッケージ・グラントを提供することとなりました。ロータリー・クラブはこの補助金を利用して、発展途上国の水や衛生の問題に取り組む専門家育成にあたることができます。このパッケージ・グラントでは、毎年8名の奨学生が、オランダ、デルフトにあるユネスコ水教育研究所で3つの修士課程プロ



水教育の大学院課程として世界最大規模を誇るユネスコ水教育研究所では、1957年以来、160カ国以上から集まった14,500名を超える専門家が学んでいます。(写真提供: UNESCO-IHE)

ラムのいずれかを専攻します。奨学生は将来、水・衛生分野の専門家として活躍することが期待されます。

ロータリーとユネスコ水教育研究所は、すべての人々、特に貧しい人々が継続的に水や衛生設備を使えるようにするという共通の目標を掲げています。また、今回の提携は、ロータリーの重点分野「水と衛生設備」を直接支援するものでもあります。「世界でさまざまな水問題が発生し、専門家が必要とされる中、ロータリーは、ユネスコ水教育研究所のような第一級の教育機関と戦略的パートナーシップを結び、人材の育成に力を注いでいきます」と話すのは、ロータリー財団のウィリアム・ボイド管理委員長です。「ロータリー・クラブは、将来における活躍が期待できる優秀な奨学生を探し、支援することで、水や衛生の問題解決に向けた重要な貢献ができます」

「発展途上国で発生する疾病の80パーセントは、水不足や不衛生が原因」と話すのは、ユネスコ水教育研究所のAndrás Szöllösi-Nagy教授です。「ロータリーとの協力を通じて、深刻化する水問題に取り組むための人材を育てることができます」

水教育の大学院課程として世界最大規模を誇るユネスコ水教育研究所では、1957年以来、160カ国以上から集まった14,500名を超える専門家が学んでいます。研究所はまた、研究や開発のためのプロジェクト推進、水に関する教育機関や組織の世界的ネットワークの管理、水教育に関する専門知識の提供、水に関する大学院教育や継続教育の国際的基準の設置にも関与しています。

会長と事務総長が 世界経済フォーラムに参加

国際ロータリーのカルヤン・パネルジー会長とジョン・ヒューコ事務総長が、ヨルダンとインドで開催された世界



経済フォーラムの行事に参加し、重点分野の一つである、経済と地域社会の発展に対するロータリーのコミットメントについて力説しました。

1971年に創設された財団組織、世界経済フォーラムは、ビジネス、政治、教育各界のリーダーが集い、世界の経済、保健、環境といった世界的規模の課題について話し合う場を提供しています。10月21～23日にヨルダンで行われ、アラブ諸国における人材開発、雇用創出、水の確保に重点とした世界経済フォーラムの会合には、パネルジー会長が、国際ロータリーの代表として史上初参加しました。会長は、この会合への参加を機会に、「世界中から出席した国王、首相、その他の要人に、ロータリーの活動について知ってもらうことができました。ロータリーとしては、世界経済フォーラムの重要会議に今後もできる限り参加し、フォーラムとの協力関係を強化していきたいと考えています」と述べています。ヒューコ事務総長は、11月12～14日、インドのムンバイで開催されたインド経済サミットで、米国およびインドのリーダーと共にパネル討論に参加し、ロータリーが教育推進活動を通じて行ってきた、読み書きや計算のスキルに関する教育について話しました。その中で事務総長は、「ロータリーはこの課題に多面的に取り組んできました。例えば、ただ学校を建て、子供たちが通えるようにするだけでは不十分です。飲み水や、衛生設備、医療などを整えることで、子供たちが健康で、経済的に安定した家庭環境を整えてあげることが必要です」と述べました。さらにヒューコ事務総長は、インドのビジネス雑誌に寄稿し、ロータリーのポリオ撲滅活動がインドの経済発展にどれほど寄与できるかを論じました。

「一つには、撲滅活動の結果、社会インフラや医療施設が改善され、社会発展に欠かせない、ポリオ以外の公共衛生のニーズに応えられるようになることが挙げられます。数年以内にポリオを世界からなくすことができれば、今まで全世界で撲滅活動に費やされた80億ドルを超える投資が、2035年までに400～500億ドルの経済効果を生むという試算が、昨年、著名な学術雑誌、「Vaccine」によって発表されています。しかも、この経済効果はほとんどが、ポリオに最も長い間苦しんできた国々で実現するものと予測されています」この記事を読むロータリー財団は4月、発展途上国の経済・社会発展を支援するため、オイコクレジットとの戦略パートナー提携を承認しました。オイコクレジットはオランダに本部を置く金融機関で、社会的責任を重視した投資活動を推進しています。